

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学発展開論	NSP44_008	選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎	302	s.mochizuki	水曜日 12:30~14:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護の実践は「分析と統合」である。複雑な地域社会の状況を理解し、対象となる人々の健康状態とその健康に影響する要因を詳細に分析し対策を立案していく。本科目は、公衆衛生看護学実習を行う市町村の既存資料をもとに地域アセスメントを実施し、健康課題の明確化と構造化・対策の検討・政策提起・地域看護活動の評価までの一連の過程を学ぶ。学習方法は演習を主とし、訪問指導や健診時の問診等を模擬的に行う中で、PDCAサイクルの特徴について理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	本科目は、今までに履修した公衆衛生看護学関連科目で得た学びを統合して学習するため、これまで履修した科目を十分復習したうえで臨むこと。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版 / 編:佐伯和子 / 医歯薬出版 / 2018 ・クエスト・バンク 保健師国家試験問題解説 / 編:医療情報科学研究所 / 2025 (4月発刊予定) [2冊指定] 				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標					
①	地域診断に基づく活動計画・実践・評価の基本について理解でき、説明できる			HSU(1)(2)、NS(1)	
②	地域の健康情報のアセスメントに必要な技術を修得できる			NS(2)(3)(4)	
③	自主性・社会性を身につけるとともに公衆衛生看護学実習に向けて学習の準備ができる			HSU(4)(5)、NS(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 本科目の目的や学習方法を確認し合う。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
2	公衆衛生看護における機能と技術について学修する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
3	公衆衛生看護活動における対象の理解について学修する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
4	[公衆衛生看護活動の基盤となる理論] 保健行動理論と保健指導で活用できる理論について学修する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
5	[公衆衛生看護活動の基盤となる理論] 健康・保健行動を生み出す「力」について学修する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
6	[地域組織活動で活用できる理論・方法論] コミュニティ・アズ・パートナーモデルについて学修する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
7	[地域組織活動で活用できる理論・方法論] ブリシード・プロシードモデルについて学修する。	講義・演習	教科書の該当箇所を読み、「1 興味を持った内容と感想、2 理解するのが難しかったこと」をまとめる。	1	
8	[公衆衛生看護実践と技術の特徴] 基本的な実践プロセス (計画立案・実施・評価) について学ぶ。	講義・演習	予習: 教科書の該当箇所をよく読む。 復習: 計画・実施・評価の基本を振り返ってしておく。	1	
9	[地域アセスメントの基本] 地域アセスメントに必要なデータ源と収集方法を学ぶ。また、量的データと質的データの特徴を理解	講義・演習	参考書をもとに、量的データと質的データの特徴を掴んでおく。	1	
10	[地域アセスメントの実際] 対象となる地域のインターネット上の情報を収集する。	講義・演習	前回の講義内容を十分復習したうえで演習に臨む。	1	
11	[地域アセスメントの実際] 対象となる地域のインターネット上の情報を収集する。(前回の続き)	講義・演習	演習でやりきれなかった部分を整理しておく。	1	

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

12	[地域アセスメントの実際] 対象となる地域のインターネット上の情報を収集する。(前回の続き)	講義・演習	演習でやりきれなかった部分を整理しておく。	1
13	[地域アセスメントの基本] 対象地域の概要と基本構造を理解する。	講義・演習	参考書をもとに、地域の概要と基本構造にどのようなものが含まれるかを確認しておく。	1
14	[地域アセスメントの実際] 量的データをアセスメントしやすく効果的に見せるための図表を作成する。	講義・演習	予習: エクセルの基本操作を復習しておく。	1
15	[地域アセスメントの実際] コミュニティ・アズ・パートナーモデルを活用して対象地域をアセスメントする。	講義・演習	予習: 参考書の実践編に目を通す。 復習: 実習地域に置き換えて考えてみる。	1
16	[地域アセスメントの実際] 対象地域の健康課題を特定していく。また、健康課題の優先性を判断し整理する。	講義・演習	予習: 各自が調べアセスメントした内容を説明できるようにしておく。 復習: 他の学生の発表からの気付きをま	1
17	[事業計画立案の実際] 目的関連図を作成する意図を理解する。	講義・演習	復習: 授業で学んだことを次回実践できるよう復習しておく。	1
18	[事業計画立案の実際] 目的を達成させるための関連図を作成する。	講義・演習	復習: 作成中の目的関連図の内容が適切かを確認しておく。	1
19	[事業計画立案の実際] 目的を達成させるための関連図を作成する。(前回の続き)	講義・演習	予習: 作成中の目的関連図の内容が適切かを確認しておく。	1
20	[事業計画立案の実際] 事業の企画書案を作成するために、計画・実施・評価の一連の流れの重要性を学ぶ。	講義・演習	これまでの講義内容を十分復習したうえで演習に臨む。	1
21	[事業計画立案の実際] 事業の企画書案を実際に作成する。	講義・演習	予習: 企画書案を作成できるよう、事業の目的を明確にしておく。	1
22	[公衆衛生看護活動を展開するための技術] 保健師として不可欠なディスカッションスキルを修得するために必要な知識を身につける。	講義・演習	予習: わが国の社会情勢や動向を調べておく。	1
23	[公衆衛生看護活動を展開するための技術] 保健師として必要なディスカッションスキルを修得する。(グループディスカッション①)	演習	復習: コミュニケーションに関する自分の強みと弱みを整理する。	1
24	[公衆衛生看護活動を展開するための技術] 保健師として必要なディスカッションスキルを修得する。(グループディスカッション②)	演習	復習: ファシリテーションに関する自分の強みと弱みを整理する。	1
25	[公衆衛生看護活動を展開するための技術] 保健師として必要なディスカッションスキルを修得する。(ディベート①)	演習	復習: ファシリテーションに関する自分の強みと弱みを整理する。	1
26	[公衆衛生看護活動を展開するための技術] 保健師として必要なディスカッションスキルを修得する。(ディベート②)	演習	復習: 自分の強みと弱みを整理する。	1
27	[まとめ1] 公衆衛生看護学実習に向けて、必要な知識と心構えを確認する。	講義・演習	保健師国家試験を意識し、本科目に関連する過去問題を解いておく。	1
28	[まとめ2] 公衆衛生看護学実習に向けて、必要な知識と心構えを確認する。	講義・演習	保健師国家試験を意識し、本科目に関連する過去問題を解いておく。	1
29	[まとめ3] 保健師国家試験に向けた知識の確認を行う。	講義・演習	保健師国家試験を意識し、本科目に関連する過去問題を解いておく。	1
30	[まとめ4] 保健師国家試験に向けた知識の確認を行う。	講義・演習	保健師国家試験を意識し、本科目に関連する過去問題を解いておく。	1
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

【専門教育科目/公衆衛生看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	50	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	0	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	0	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	保健師国家試験を想定した出題方法とし、本科目及びこれまでの公衆衛生看護学関連の範囲を統合した問題を出題する。内容が不消化であった場合には、積極的に質問することを期待する。				必要に応じ試験内容の解説を行い、不明点を解消させる。公衆衛生看護学実習Ⅱの中でフィードバックしていく。
	②	✓					
	③	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
成果発表	①	✓	毎回の発言回数及び発言内容を評価する。 自主性・社会性を身につける機会として、毎回の授業においては積極的に発言すること。その際に、教員や他者の発言内容をしっかりと受け止めることに留意する。 なお、授業の出欠席についてもここで評価する。				授業時間内でフィードバックしていく。
	②	✓					
	③	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①						
	②						
	③						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教 員 の 実 務 経 験	行政保健師として8年間の勤務経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
そ の 他	保健師受験資格科目履修学生は必ず受講すること。 講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない場合は退室していただくこととなる。学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。						